

# 林業雇用管理研修会を開催します (苫小牧市、帯広市)

厚生労働省委託事業

- この研修会は、事業体の雇用管理の取組を促進するため、北海道森林整備担い手支援センターが開催するものです。
- 研修内容は、最近の林業雇用の情勢や労働安全衛生、就業に関する支援制度、雇用管理の改善方策等についてです。
- 講師は、労働基準監督署・公共職業安定所の御担当官、社会保険労務士等の専門の方々からご説明頂きます。
- 参加対象は、森林組合・林業事業体の事業主、雇用管理や労務を担当する方々で無料です。

1 苫小牧会場 令和6年1月23日(火) PM1:00～PM5:00  
苫小牧市民会館

2 帯広会場 令和6年2月 6日(火) PM1:00～PM5:00  
とかちプラザ

参集人員:各会場50名程度

「みんな休めるのであれば休みたい。」  
▶▶▶ 事例：従業員の目的意識を改革して週休制を実現（安藤山林緑化有限公司/北海道）

強まる  
危機感  
決断  
計画  
実施  
達成

繁忙期には休みがとれず、労働負担も大きい。このままの事業を続けていくと従業員確保が困難に。  
社長自ら通年での週休制を率先して導入しよう！  
1日の仕事量が不明瞭になっている。毎日のミーティングで従業員に目標と計画を伝え仕事の終わりを明確にしよう！  
従業員の仕事に対する目的意識が改善！長期間労働を改善して週休制を実現！

「職員が定着しなければ、事業全体が負の循環に陥ってしまう。」  
▶▶▶ 事例：現場見学でイメージギャップを解消（有限会社丸大東北農林/苫手県）

課題を認識  
高い離職率が経営課題に。職員が定着しなければ事業が負の連鎖に陥ってしまう。  
採用時のイメージギャップが原因。  
業務内容を見てもらおう！現場見学を実施！

「安全対策だけを言ってもダメ。作業方法の統一が必要。」  
▶▶▶ 事例：統一的な作業ルールで災害減と作業効率化を達成（西妻森林組合/群馬県）

対策が必要  
業務を  
検証  
計画  
実施  
副次的  
効果も

労働災害が発生。災害減少が課題に。  
作業班同士で情報が十分に共有されていない。  
現場作業のルールを設定しよう！技術力向上研修会を開催しよう！  
体力的な負担が減り、労働災害が減少！作業効率化や機械維持コストの削減も達成！

(一社)北海道造林協会北海道森林整備担い手支援センター

センターHP QRコード



〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目林業会館4F

☎ 011-200-1381

HP [www.shiencenter.or.jp](http://www.shiencenter.or.jp)

担当:三谷、秋保